

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称 株式会社 ツネイシカムテックス 福山工場
- (2) 事業所の所在地 広島県福山市箕沖町107-5
- (3) 業種 産業廃棄物処分業

2 計画の期間

平成18年を基準として、平成19年から令和4年までの15年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位: 排出量(t-CO₂), 削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段:見込量(b) 下段:削減率(c)	計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))				
	平成18年度	令和4年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
エネルギー 起源CO ₂	22,000	13,500	20,779	18,140	9,000	9,761	11,500
非エネルギー 起源CO ₂	190,000	180,000	164,000	193,000	174,000	193,000	202,800
メタン							
一酸化二窒素	6,130	6,750	5,810	6,180	6,060	6,360	6,370
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	218,130	200,250	190,589	217,320	189,060	209,121	220,670
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標: 生産量(千円)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段:目標(b) 下段:削減率(c)	計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比(e))				
	平成18年度	令和4年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
エネルギー 起源CO ₂	0.0071	0.0030	0.0051	0.0044	0.0022	0.0020	0.0023
		57.7	28.6	38.0	69.0	71.8	67.6
非エネルギー 起源CO ₂	0.0612	0.040	0.040	0.047	0.042	0.040	0.041
		34.6	34.6	23.2	31.4	34.6	33.0
メタン							
一酸化二窒素	0.0019	0.0015	0.0014	0.0015	0.0015	0.0013	0.0013
		21.1	25.4	21.1	21.1	31.6	31.6
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	0.0702	0.0445	0.0464	0.0530	0.0460	0.0430	0.0444
		36.6	33.8	24.5	34.5	38.7	36.8
エネルギー消費 原単位(原油換 算kl)	8,440		7,568	6,637	3,286	3,635	4,416
実績に対する 自己評価	エネルギー起源CO ₂ が基準年比67.6%減、前年度比15%増、非エネルギー起源のCO ₂ が基準年比33.0%減、前年度比2.5%増、一酸化二窒素が基準年比31.6%減、前年度比同となった。総排出量では基準年比36.8%減で前年度比3.3%の増加となり、前年度から全体的に増加したものの、目標値内の水準となっている。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気の使用量の削減	電気の使用量を1%削減	高効率省エネファンの導入
2	電気の使用量の削減	電気の使用量を1%削減	高効率省エネポンプ(吐出量の最適化)の導入
3	電気の使用量の削減	購入電力を2%削減 (発電量の向上)	ドレントラップ(オリフィス式)の交換
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を5パーセント削減	コピー用紙裏面利用及び書類のPDF化

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。